

令和7年度版

研修ご担当者様

高次脳機能障害者への支援のための 出張（オンライン）勉強会のご提案



堺市立健康福祉プラザ
生活リハビリテーションセンター
(堺市高次脳機能障害支援拠点機関)

堺市立健康福祉プラザ 生活リハビリテーションセンター
Social Independence Rehabilitation Center

支援する方々の共通の疑問や課題

「高次脳機能障害ってなんだかよくわからない」

「どのようなリハビリがあるの？」

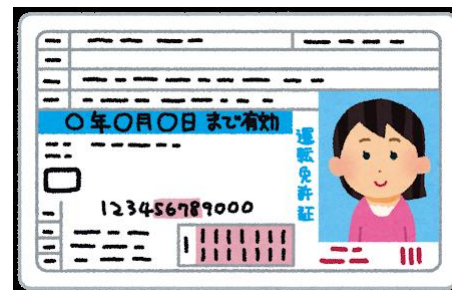
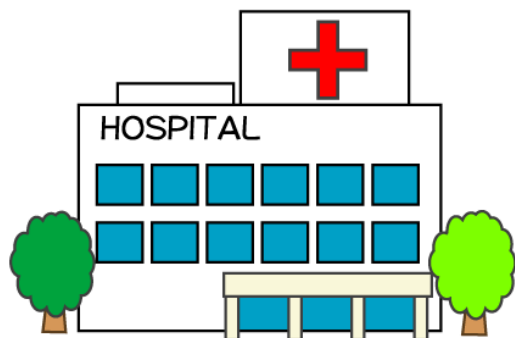
「リハビリ後の生活が知りたい」

「神経心理学的検査って難しい？」

「感情コントロールができない人の対応は？」

「コミュニケーションを上手くするための工夫は？」

「自動車は運転していいの？」



令和7年度も堺市高次脳機能障害支援拠点機関による高次脳機能障害者支援に関する出張勉強会を開催いたします。

また、**オンライン**での開催にも対応しております。

医療・福祉の分野で日々高次脳機能障害者の支援に携わっている施設・事業所における人材育成のための施設内勉強会等にご活用ください。



生活リハが提供する研修会の特徴

- 支援経験に基づく実践的内容
- 一般論から各論までのバリエーションが豊富
- 堺市内の資源紹介なども可能
- 個別の支援課題に対する具体的提案も可能
- 参加者の要望に合わせてアレンジが可能
- 支援拠点との「顔の見える関係づくり」の機会
- 引き継いだケースのフォローアップに

平成27年度～令和3年度の実績とテーマ

(医療機関 12病院 30回開催、延べ905名参加)

- 高次脳機能障害とは
- 生活リハビリテーションセンター（堺市高次脳機能障害支援拠点機関）の役割
- 高次脳機能障害の特性と対応
- 高次脳機能障害に対するリハビリテーションと具体的な対応方法について
- 高次脳機能障害に対する医療から福祉へのきれめのない支援
～より良い地域生活のために～
- 高次脳機能障害の就労支援について
- 高次脳機能障害者の社会参加支援について
- 高次脳機能障害における社会資源について
- 高次脳機能障害における社会的行動障害とその対応について
- 注意障害の認知リハビリテーションについて
- 適切な座位姿勢のための簡易な評価方法とその対処法について
- 病院と生活リハビリテーションセンターとの連携
～利用者さんは退院後に生活リハでどんなリハをして、
卒業後はどんな生活を送っているのか～
- 入院中の高次脳機能障害者への対応について ～病棟における観察・対処のポイント～
- 社会的行動障害への適切な対応と支援者が知っておきたいこと
- 高次脳機能障害者に対する自動車運転技能評価
- 小児の高次脳機能障害について
- 障害福祉サービスと介護保険サービスの連携について

平成27年度～令和3年度の実績とテーマ (介護・福祉機関 28事業所、43回開催、延べ824名参加)

- 高次脳機能障害とは ～高次脳機能障害を理解するために～
- 記憶障害への対応
- 失語症のある方への対応について
- 社会的行動障害への適切な対応と支援者が知っておきたいこと
- 高次脳機能障害について
～堺市における支援体系と障害像及びその適切な支援方法について～
- 高次脳機能障害の支援について学びましょう
- 高次脳機能障害と自動車運転
- SSTから考える社会的行動障害（主に感情コントロールの障害）への対処方法
- 腰痛予防体操
- 症状に合わせた介助方法の紹介
- 高齢化する障害者の二次障害の予防について
- 障害福祉サービスと介護保険サービスの連携について
- 記憶と注意の認知リハビリテーションについて
- 高次脳機能障害者の社会参加支援について～就労支援を中心に～
- 片麻痺者の退院後のリハビリテーションについて
- 明日から使える！片麻痺のある方への具体的な対応方法
- 高次脳機能障害者のメンタルサポート
- 相談支援において必要な情報

	令和4年度実績とテーマ	参加者数
Aケアプランセンター	「高次脳機能障害とは」 「生活リハビリテーションセンターの役割」	12
	「福祉用具の活用」	12
	「障害福祉サービスと社会保障制度について」	10
	「脳卒中後の2号被保険者の支援 ～社会参加に向けた支援のポイント～」	7
	「事例検討会～実際の支援事例をもとに～」	9
B就労支援機関	「高次脳機能障害の理解と対応方法」	20
C就労支援事業所	「高次脳機能障害とは」 「生活リハビリテーションセンターの役割」	13
	「事例検討～適切な対応と支援者が知っておきたい事～」	13
D介護支援専門員協会	「高次脳機能障害の方の社会参加をめざして ～第2号被保険者の支援で悩んだ経験はありませんか～」	77
2 介護関係機関 1 就労支援機関 1 就労支援事業所	延べ9回開催 参加者合計173名	173

	令和5年度実績とテーマ	参加者数
Aケアプランセンター	「社会的行動障害への適切な対応と支援者が知っておきたい事」 「介護保険と障害福祉サービスとの連携（制度と社会資源）」 「介護保険と障害福祉サービスとの連携（事例編）」 「失語症の方への対応について」 「事例検討会～支援の組み立てを考える～」	計5回 延56名
B就労支援機関	「高次脳機能障害者の就労支援について」	27
作業所連絡会	「知ろう、活用しよう、堺市高次脳機能障害支援拠点機関」	18
Cケアプランセンター ／計画相談支援事業所	「高次脳機能障害とは～適切な対応と支援者が知っておきたい事～」 「介護保険制度と障害福祉サービスの連携」	計2回 延13名
D専門学校 (言語聴覚士学科)	「高次脳機能障害者の自動車運転について」	71
E病院	「社会的行動障害への適切な対応と支援者が知っておきたいこと」	32
F回復期病院	医療機関と高次脳機能障害支援拠点機関との連携について」	57
G回復期病院	「堺市生活リハビリテーションセンターとは」	25
2 介護関係機関 2 就労支援機関 1 相談機関 1 教育機関 3 医療機関	延べ13回開催 参加者合計 299名	299

	令和6年度実績とテーマ	参加者数
A病院 地域連医療連携室	「令和6年度報酬改定に伴う高次脳機能障害支援に係る 変更点について」	8
Bケアプランセンター	「高次脳機能障害者の症状と支援」	11
C専門学校 (言語聴覚士学科)	「子どもの高次脳機能障害者について」	58
D病院	「高次脳機能障害の自動車運転について」	25
	「介護保険と障害福祉サービスとの連携」	14
1介護関係機関 1教育機関 2医療機関	延べ5回開催 参加者合計116名	116

研修会のテーマ

①社会資源編：主に相談支援者向け

1. 「堺市高次脳機能障害支援拠点と自立訓練事業について」

生活リハビリテーションセンター（堺市高次脳機能障害支援拠点機関）の役割や機能について、特に自立訓練事業についての情報をお伝えします。相談支援に関わる方には役立つ情報となると思われます。

2. 「高次脳機能障害とは ～高次脳機能障害を理解するために～」

高次脳機能障害の原因や症状などをわかりやすく説明します。特に高次脳機能障害の支援に関わった経験の少ない方々向けのプログラムです。

3. 「相談支援のポイント ～実際の事例を通じての課題の整理と対応～」

専門相談支援現場から見えてきた当事者・家族の困り事をタイプ別に分類し、それぞれの課題について事例を通じて解説します。中途障害者の将来不安を軽減するための基本となる見通しを立て継続的支援の必要性を確認いただく内容です。

4. 「障害福祉サービスと介護保険サービスの連携について」

主に第2号被保険者の自立生活に向けた支援にとって適切なサービスを組み立てるための情報整理となるプログラムです。特にケアマネージャー向けの内容になっています。

研修会のテーマ

②医療・リハビリ編：主に直接支援者向け

5. 「社会的行動障害（主に感情コントロール）への適切な対応と支援者が知っておきたいこと」

高次脳機能障害の症状の中で最も対応が困難とされる感情コントロールの障害が起きる仕組みや支援現場における適切な対処方法について解説していきます。

6. 「SSTから考える 社会的行動障害への対処法」

高次脳機能障害の症状の中で最も対応が困難とされる感情コントロールの障害を中心にSST（社会技能訓練）の実施方法やその効果について解説を行います。

7. 「記憶障害、注意障害に対する認知リハビリテーションについて」

高次脳機能障害の中で最も見られやすい記憶障害、注意障害に対する認知リハビリテーションの方法などを紹介します。また、訓練効果の上がる要素や特性などを事例を通して障害全体像と対比しながら解説していきます。

研修会のテーマ

②医療・リハビリ編：主に直接支援者向け

8. 「失語症のある方への対応について」

言葉や文字による意思疎通が困難である失語症のある方との信頼関係の築き方について、症状の理解や適切な対応方法を事例を通して解説していきます。

9. 「子どもの高次脳機能障害支援について」

子どもの高次脳機能障害の特徴や課題について分かりやすくまとめてみました。特に成長に伴う支援課題の変化に着目した内容になっています。

10. 「生活リハビリテーションセンター（自立訓練）利用した方の経過について ～ 実際の連携ケースから学ぶ支援のあり方の検討～」

実際の当センター利用ケースの経過報告をもとに、医療・福祉連携の実際を検討していきます。注1

注1：当事者承諾のもと連携したケースに限ります。

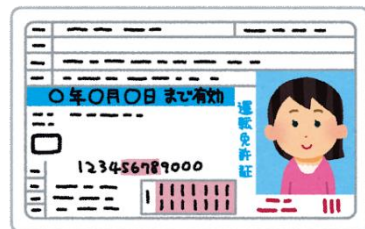


研修会のテーマ

②医療・リハビリ編：主に直接支援者向け

11. 「高次脳機能障害者の自動車運転について」

最近話題の高次脳機能障害者の自動車運転再開について、法律や制度とともにこれまで大阪府と堺市が行ってきた運転技能評価の取組み内容をもとに解説します。また、健康福祉プラザにおいては自動車運転シミュレーターの使用体験を含めた研修会が実施できます。



12. 「高次脳機能障害者のメンタルサポート」

高次脳機能障害者の支援において、当事者の気分の落ち込みなどが課題となることが多くあります。現場で導入しやすい評価方法や適切な対処方法などを事例を通して解説していきます。



堺市立健康福祉プラザ 生活リハビリテーションセンター
Social Independence Rehabilitation Center

研修会のテーマ

③社会参加編：主に相談・就労支援者向け

13. 「高次脳機能障害者の就労について」

頭部外傷や脳卒中による後天性脳損傷者が、再び就労するまで準備としての訓練や調整事項、さらに就労定着までに必要な方法について説明します。特に「就労準備性」の重要性についての解説となります。



14. 「高次脳機能障害者の社会参加支援について」

高次脳機能障害が原因でひきこもりがちな生活となってしまう方が少なくありません。充実した地域生活を行うためには安定的継続的な社会参加が大切です。障害受容までの過程や新たな社会参加に至った経過など事例を交えて解説します。

15. 「わかりやすい『神経心理学的検査とは』」

高次脳機能障害の評価である神経心理学的検査についてわかりやすく解説します。特に専門用語を聞くだけで難しいと思いがちな神経心理学的検査の結果を上手く支援に役立てるヒントになるように解説します。

研修会のテーマ

④社会参加編：主に直接支援者向け



16. 「高次脳機能障害者支援における園芸活動」

高次脳機能障害者の支援における園芸活動は、季節の変化や活動の達成感を得られる有効な支援の一つです。手軽にできる園芸プログラムや各施設で導入できそうな園芸活動について紹介します。

17. 「片麻痺者の退院後のリハビリテーション」

回復期リハビリテーションを終えて在宅生活を始めた当事者の身体機能の維持向上のための取り組みや、生活の自立度を高めるための取り組み方法と期待できる効果について事例をあげて紹介します。

18. 「適切な座位姿勢のための簡易な評価方法とその対処法について」

身体の麻痺や高次脳機能障害による空間認知の障害は、座位姿勢に大きな影響を与えます。車椅子座位や作業中の座位姿勢を適切に整えることで、移動や作業能力を高めることができます。座位姿勢について、支援現場でできる簡便な評価方法を解説します。



ステップアップ研修会（連続講座）のご案内

「高次脳機能障害とは ～高次脳機能障害を理解するために～」や、「堺市内高次脳機能障害支援拠点と自立訓練事業について」などの基礎講座を受講いただいたのち、年度内5回を上限に、より具体的なテーマでの連続講座を開催いたします。事業所内の年間研修などにご活用ください。

医療機関向け（例）	介護・福祉事業所向け（例）
<ol style="list-style-type: none">1. 高次脳機能障害とは2. 社会的行動障害とその対応3. 高次脳機能障害に対する 自動車運転技能評価4. 高次脳機能障害者の就労支援5. 医療と障害福祉サービスの連携	<ol style="list-style-type: none">1. 高次脳機能障害とは ～高次脳機能障害を理解するために～2. 片麻痺のある方への 具体的な対応方法3. 失語症の方への対応方法4. 注意障害・記憶障害への対応方法5. 感情コントロール障害への対応

※ その他、具体的なご要望があれば対応します

高次脳機能障害の方を直接支援している皆様が具体的にお困りのことについて、詳しく解説いたします。

お申し込みと実施方法

- ① ご希望の日時・場所をお教えてください（土・日・祝日を除く午前10時から午後7時までの時間帯）。
- ② おおよその参加人数をお知らせください（5名以上でお願いします）。
- ③ 開催時間は1回60分程度になります。
- ④ 費用は**無料**です。
- ⑤ 資料は10部までこちらで用意します（それ以上必要であれば、事前プリントアウトまたはデジタルデータにてお渡しします）
- ⑥ 参加者**アンケート**・参加者リスト（職種と人数）にご協力ください。
- ⑦ 開催にあたって事前のお打ち合わせをお願いする場合があります。
- ⑧ 健康福祉プラザにて開催することも可能です（会場費は無料ですが、障害者手帳のない場合は駐車料金が必要です）。
- ⑨ オンライン開催の場合は**1台以上のwebカメラ（カメラ付PCなど）**をご準備ください（複数のPC、タブレット端末からの受講が可能です）。
- ⑩ 複数の内容をシリーズで実施することも可能です（1施設5回程度）。
- ⑪ ご希望のテーマでの研修内容もお気軽にご相談ください。

お申し込み・問い合わせ先

堺市立健康福祉プラザ

生活リハビリテーションセンター

電話 072-275-5019

担当 別府・西脇

メール seikatsu-reha@sakai-kfp.info

お気軽にご相談
ください。

